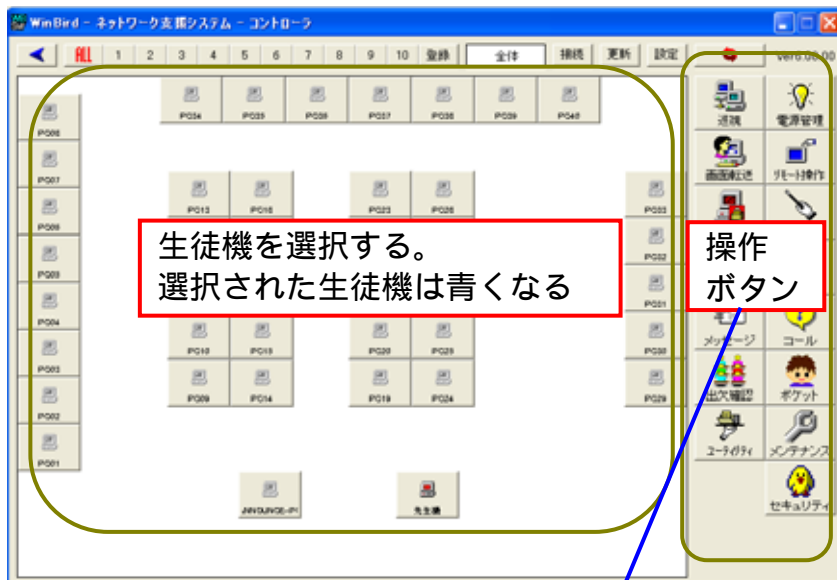


# Win Bird ネットワーク支援システム コントローラの操作方法

先生機の画面にあるパネルを使って、生徒用のコンピュータを操作することができます。  
もしもこの画面を閉じてしまったときは、『スタート すべてのプログラム WinBird ネットワーク支援システムコントローラ』で起動します。



『画面転送』... 4へ  
1台のコンピュータの画面を、転送できる。

『電源管理』... 1へ  
教師用機から生徒機を電源をON、OFFができる。

『ロック』... 5へ  
生徒機をロックして、操作できなくする。

『リモート操作』... 2へ  
教師用機から生徒機を操作できる。

『メッセージ』... 6へ  
生徒機に教師の指示を送る。

『起動指示』... 3へ  
一斉に同じソフトを起動する。



- 1 生徒機の電源を入れる（電源を切る）... 一度に、1台から複数台までできる。  
1台または複数台の生徒機の電源を入れる。

1 電源を入りたい生徒機をクリック  
複数台のときは生徒機を次々クリック  
【間違えたら、再度クリックすると選択が消える】

2 『電源管理』のボタンをクリックすると、右の画面が出る。

3 「電源ON」になっていることを確認して、「実行」をクリック

全台一斉に電源を入れる。

1 All と書かれているボタンをクリックする。  
すべての生徒機が選択される。

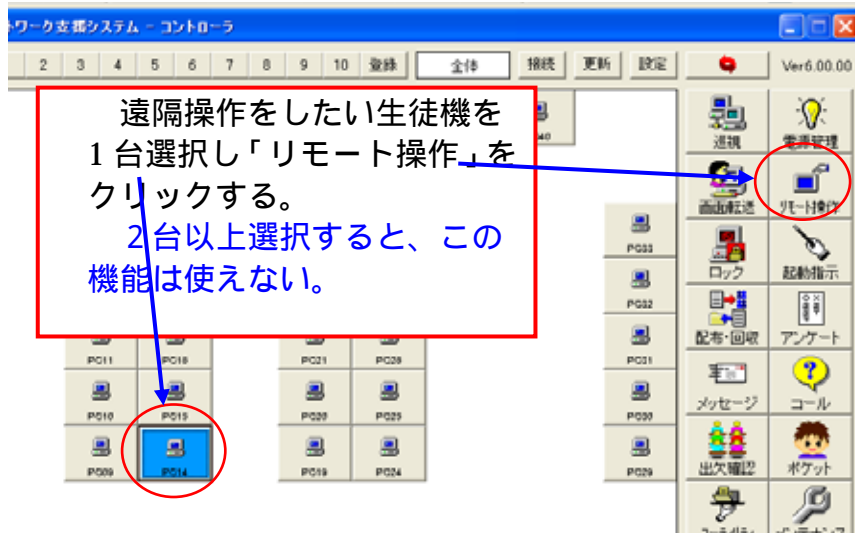
2 「電源管理」のボタンをクリックする。  
後は、と同じ

生徒機の電源を切る。  
生徒機の実行に仕方は、と同じ、  
「電源管理」のボタンをクリックして出る画面で、電源OFFをクリックして、「実行」。



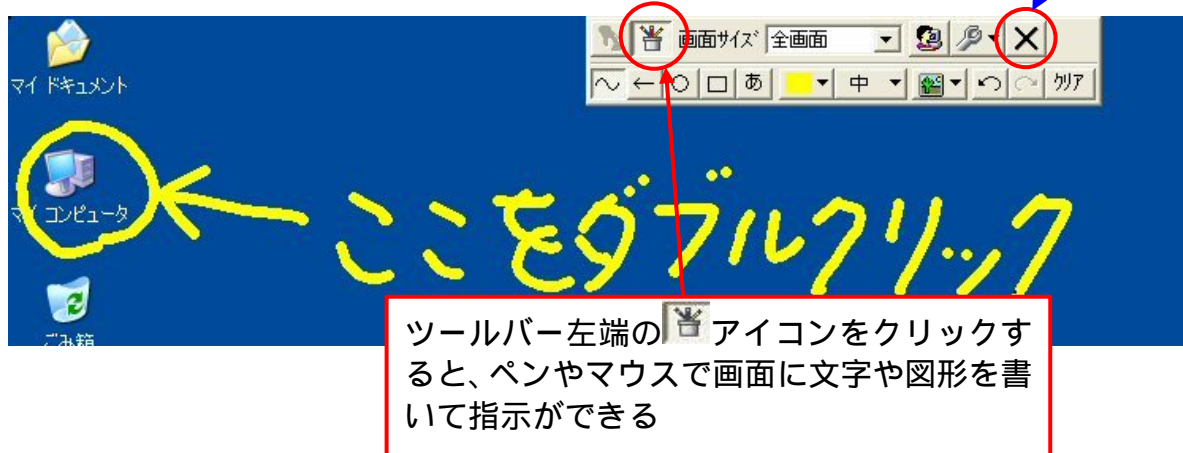
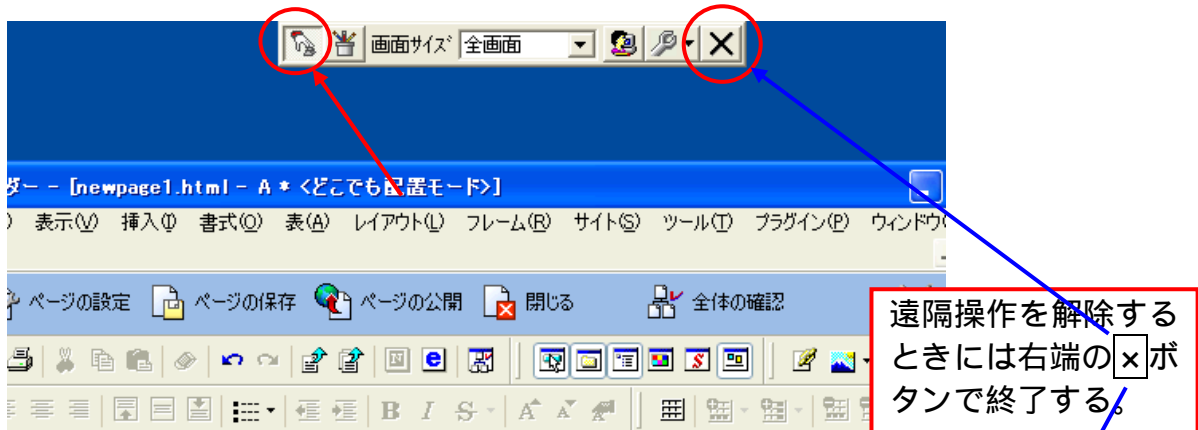
生徒がソフトを起動しているときに電源を切ると、強制終了して、作品が保存されない場合があるので、注意すること。

2. 操作を手助けしたい ... 1度に、1台でしかリモート操作ができない。



教師用機に選択された生徒機の画面が表示される。

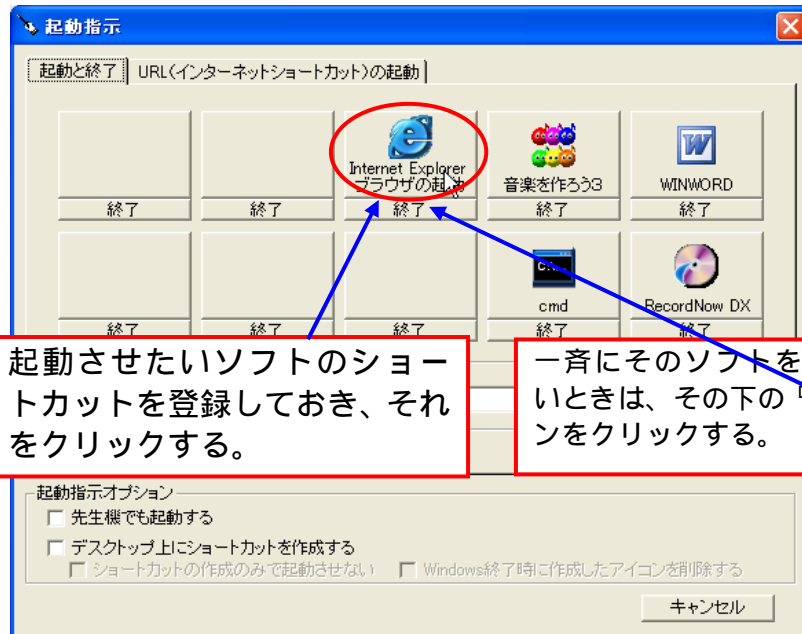
画面上部に、下図のようなツールバーが表示される



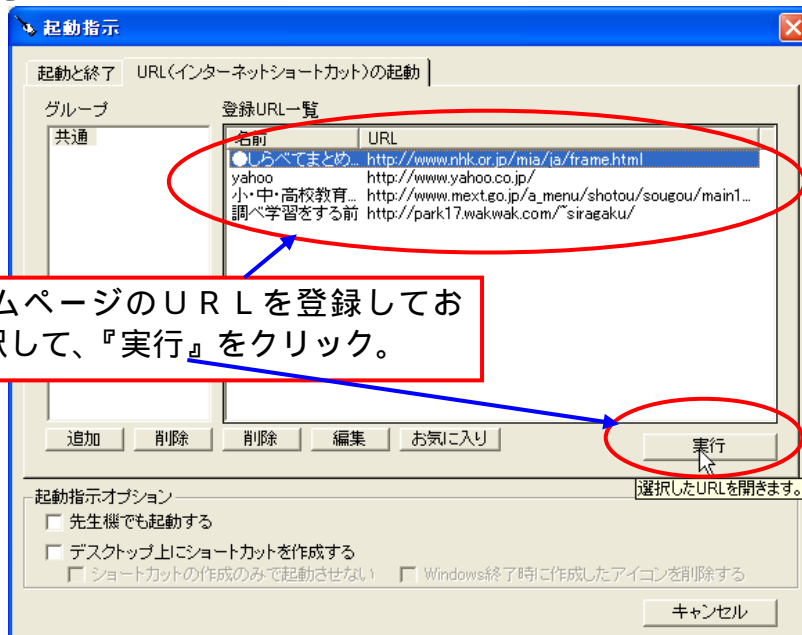
### 3 同じソフトやホームページを起動させたいとき ... 何台でもできる



ソフトウェアを起動させたいとき



同じホームページを見せたいとき



#### 4. 先生機の画面あるいは生徒機の画面を転送して、発表させる

転送したい生徒機を選択して、画面転送ボタンをクリックすると、画面転送ウィンドウが表示される。

教師の画面を、一人の生徒に見せる。      教師の画面を、複数の生徒に見せる。  
生徒の画面を、生徒に見せる。

画面上の発表したいPCを一台左クリックで選択します。  
「開始」ボタンをクリックすると画面転送モードになります。

先生機の画面を一人の生徒に見せる

先生機の画面をすべての生徒に見せる

一人の生徒の画面をすべての生徒と教師用機に見せる

「赤」になっている機械が発表者（転送する機械）

「青」になっている機械が視聴者（受信する機械）

画面転送モードを終了する場合は、転送画面上部のツールバーから **x** をクリックする。

発表用機とプロジェクターを使って、発表させることができる。  
生徒の目を集中させて、話し合い活動をしたいときには、この方法がよい。

## 5. 生徒機のキーボードとマウスをロックする

ロックしたい生徒機を選択し、「ロック」をクリック。

「ロック」をクリック  
「実行」をクリック

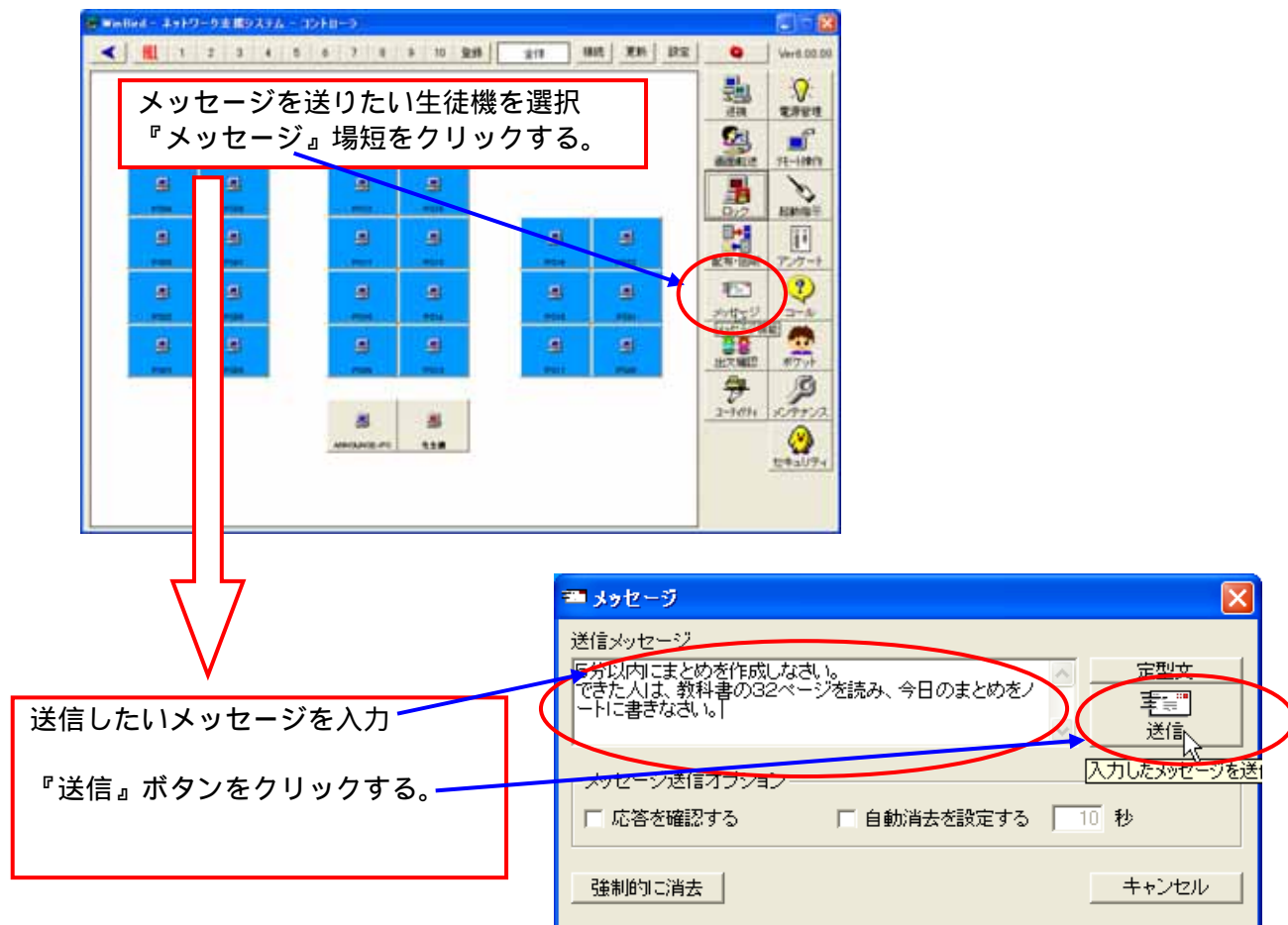
ロックされている生徒機のアイコンはこのよう表示になる

実行

ロックを解除する場合には「解除」をクリックし、「実行」をクリックする。

## 6 生徒機にメッセージをおくる。

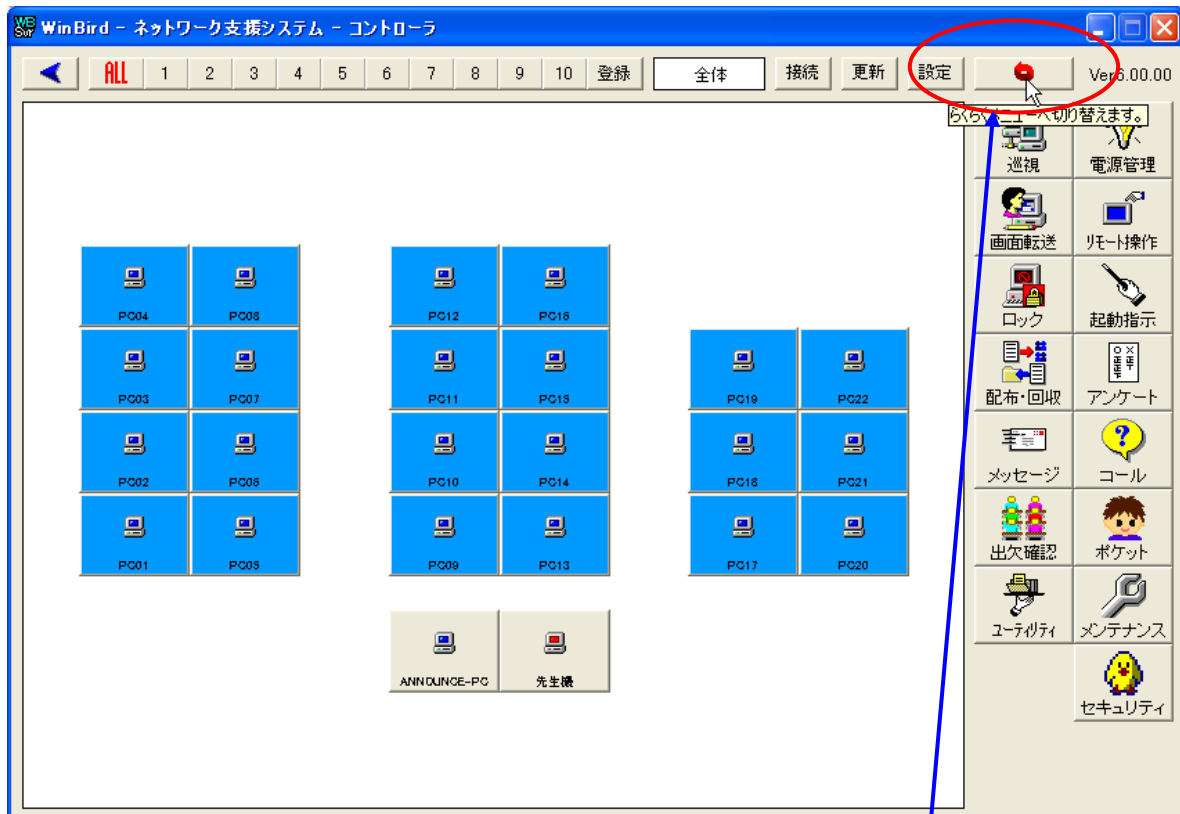
生徒に指示を出したいときに、生徒の作業を一度止めて、口頭で指示を出してもよいし、生徒の作業になるべく影響しないように、メッセージを送ることができる。





## 7 コントローラとらくらくメニューの切り替え

コントローラの操作の中で、よく使われるものを簡単な操作でできる『らくらくメニュー』がある。



『コントローラ』と『らくらくメニュー』の切り替え。  
『らくらくメニュー』では、全ての生徒機が対象になる。

